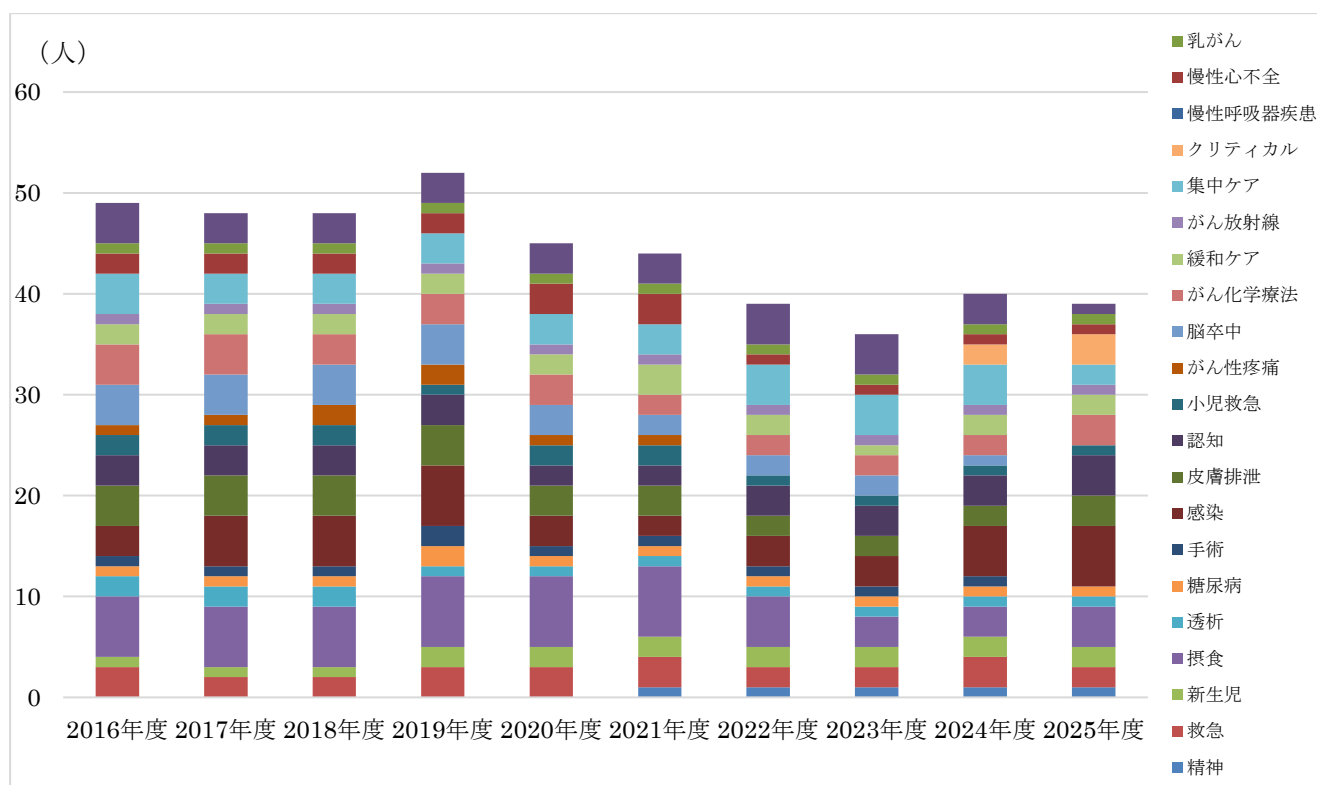


分野別認定看護師数の推移



認定看護師制度は、高度化・専門分化が進む医療現場において、看護ケアの質向上とその広がりを目指して創設され、現在日本看護協会が 21 分野を認定している。認定看護師は特定の分野において、実践（個人・家族・集団に対し熟練した看護技術を用いた水準の高い看護の提供）、指導（看護実践を通じた看護職への教育・指導）、相談（看護職へのコンサルテーション）の 3 つの役割を担っている。

当院では 1998 年に初の認定看護師が誕生して以来、人材育成に注力し、分野および人数ともに飛躍的な増加を遂げてきた。2020 年度には過去最多となる約 53 名に達し、その後は他拠点への異動や人事交流を通じ、2025 年度には 39 名体制となっている。この変動は、当院内のみならずグループ全体の看護の質向上に寄与するための積極的な人事交流によるものであり、各拠点で活躍する人材の輩出を意図している。なお本グラフでは認定看護師に加え、認定看護管理者も併せて表示している。認定看護管理者は組織を戦略的に発展させる能力を有し、その育成ニーズは全国的に高まっている。さらに認定看護師・認定看護管理者以外にも、当院では急性・重症患者看護分野の専門看護師 2 名が活躍しており、専門的知見をもって臨床現場で重要な役割を果たしている。

データ提供 看護部